

令和5年度 第4回 学校運営協議会（議事録）

I 日 時 令和6年3月15日（金） 13:00 ～ 15:00

II 場 所 静岡県立浜松湖東高等学校 大会議室

III 出席者（委員、敬称略）

山口権治（第一学院高等学校顧問） 新村貴文（神久呂地区社会福祉協議会会長）

神間智博（本校同窓生） 村松俊司（神久呂協働センター所長）

鬼石直也（本校後援会長）

欠席者

新井立夫（文教大学教授）、鈴木恵子（認定NPO 法人魅惑的倶楽部理事長）

本校職員

副校長（渥美 真人） 教頭（山崎 修司） 事務長（諸井 康恵）

IV 内 容

1 副校長（校長職務代行者）挨拶

本日は委員の皆様、令和6年度学校経営計画について協議、意見をいただきます。よろしくお願いいたします。

2 議事（進行：会長欠席のため、副会長）

(1) 令和6年度学校経営計画について

○副校長から説明

- ・昨年度のものを見え消し赤字で修正した。

○スクール・ミッション

- ・内容は大きくは変えずに読みづらいところを修正した。

○スクール・ポリシー

- ・昨年度を踏襲。グローバルハイスクールを探究プロジェクトに変えた。「フェアトレード」「コトバシヨ」「ジェンダー」の事業について校内組織を一本化する。

○本年度の取組

- ・紙ベースによる一斉実施の到達度テストをやめ、各教科の指導によるWebによる実施に変更する。
- ・「生活面（服装・頭髪等）はしっかりしている」と答える生徒80%以上を85%以上とした。今年度90%を超えていたため。
- ・部活動については今の時代に合わせて表記を変更した。
- ・Instagramは毎日更新しているので、回数を200回に増やした。
- ・ウの項目については、働き方改革に関するものであり、県教委から指示があり加えた。
- ・教育課程と実態にズレが生じているので、見直しをする。
- ・定時退勤については今年度全員一斉の定時退勤を実施したが、繁忙期がそれぞれ異なり不評であったため各自の設定とした。

(2) 意見交換（委員から）

- ・スクール・ミッションは一文が長いので、変更してもよい。
- ・同窓生として湖東高校のポジションが気になる。入試の倍率も気になった。実態はどうであったのか。

（副校長）274名志願があり272名合格した。湖南、浜名も定員割れした。公立は厳しい状況である。湖東はオール3レベルの子が中心。

- ・勉強ができる子が社会で活躍するとは限らない。学生時代は勉強ができなくても個性があり素晴らしい仕事をしている人がいる。社長を目指す子を育てるなど、特色ある経営をしてほしい。湖東高校でしか学べないもの、湖東高校ならではのものを打ち出したいと、道は開けない。
- ・Instagramやホームページの更新回数数値目標にしているが、閲覧数に重きを置いてほしい。
- ・オール3はバランスがいいということ。何をやっても伸びる可能性を持っている。何が成功かわからないが、自分の周りの湖東出身者は幸せを実現している人が多い。コミュニケーション力が高い人も多い。
- ・部活動は全員加入か。
(副校長) 1年生は全員加入であるが、2,3年生は加入していない子もいる。部活動は、指導者不足で成り立たなくなっている。
- ・部活動での経験は、自分の経験から社会に出てからの力につながっている。
- ・湖東高校に通えば3年間楽しく過ごせる、長所を伸ばせるような教育が必要。スポーツだけでなく、コトバショやボランティアなどの活動を通して成長していけると良い。
- ・部活動は自分で主体的に選ぶ時代。探究、部活だけでなくサークル的に行う活動でよいのでさまざまな体験をさせてほしい。
- ・生活ルールは、生徒たち自身が問題意識を持って、自分たちで考えることが大切。
- ・地域で発表する場があるとモチベーションが上がる。
- ・話を聞いてくれる人が校内にいてほしい。先生方の聞く力が重要。

3 次年度の運営協議会

- ・学校後援会長として、鬼石委員から松浦後援会長に変更となります。
- ・村松委員は、神久呂協働センター所長として務めていただいているので、人事異動があれば、後任の方に引き継いでいただきます。
- ・その他の委員は継続してお願いします。
- ・令和6年度第1回は、6月8日(土)文化祭の日を予定しています。